

パネルシアターの紹介——鶴見教会の例

鶴見教会「からし種の会」担当 竹内 基^{たけうち もと}

*「からし種の会」とは中学校を卒業した方から社会人になる前の方を対象にした会です。

☆パネルシアターとは☆

明るい部屋で白のパネル舞台を使い、Pペーパーで作った絵人形を、貼ったり、はがしたりしながらお話を進めていく、不思議で見る人を引き付ける事の出来るとても楽しいものです。

必要物品

- ・白Pペーパー (絵人形を作るときに使用する不織布*) *三菱製紙のMBSテックを使用。
- ・絵の具 (ポスターカラー、アクリルガッシュ等)
- ・舞台 (白のパネル布を貼ったもの)

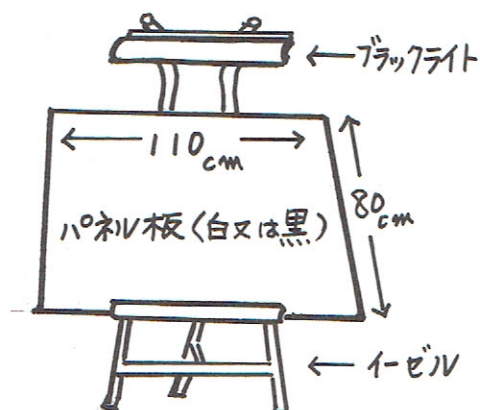
★ブラックシアターとは★

部屋を暗くして、蛍光絵の具で着色した絵人形にブラックライトを当て、黒のパネル舞台を使って演じるパネルシアター。(基本は白と同じ)

必要物品

- ・白Pペーパー
- ・蛍光絵の具 (絵人形の着色に使用)
- ・ブラックライト及びフック (蛍光管*、ブラックライトをつけるための装置)
*可視放射をカットし、蛍光作用の強い紫外放射を発生する「ブルー蛍光灯」。
- ・舞台 (黒のパネル布を貼ったもの)

<パネルシアター舞台>



*材料のPペーパー、パネル布等は書店・手芸店にあります。



ブラックシアター場面

[特集] 教材の制作例

◇作製の過程—企画から上演まで◇

- 鶴見教会では、10年以上前に教会員の方が「ブラックシアター」を上演してくださったのですが、暗い中に白く浮き出される人や物の不思議さにすっかり引き付けられ、「私たちもやってみたい」の声がで、「からし種の会」がクリスマスに向けて作製、上演しています。ほとんどブラックシアターです。
- 企画・準備
 - ・ 9月から台本になる絵本の候補を探し、持ち寄り相談します。クリスマスのお話とは限りません。
(テーマは“愛”です)
 - ・ 絵本が決まると描く絵を選びます。(絵本を読みながら上演するので、全ての絵を描くわけではない)
- 作製
 - ・ Pペーパーに下絵を描く。描くのが得意な人は直接Pペーパーに鉛筆(黒のB~2B)で描きますが、苦手な人は絵を拡大コピーして写します。手足を動かす等の加工はしていません。
 - ・ 絵の大きさは、お話の内容によって、バランス等も考えて決めます。
- 着色
 - ・ 絵人形の周りを黒の油性マジックで縁取りします。
 - ・ 絵本を参考に蛍光絵の具で色をつけます。
 - ・ 縁取りに沿ってはさみで切り取ります。(白を残さないように)
- 点検・練習
 - ・ 台本(絵本)と絵人形を合わせ、不足が無いか調べます。
 - ・ 絵人形の出し方、動かし方、演じ手の役割を確認し練習します。
(時間不足で練習できない時もあります)
- 上演
 - ・ 毎年、「中学生とからし種の会のクリスマス」の祝会で上演します。
 - ・ パネルシアターの舞台を、見る人が見やすい高さに設置します(机等を用いて)。イーゼルの部分は黒の前布で隠します。
 - ・ 室内を暗くし、舞台にブラックライトを当て、絵本の読み手の声に合わせて(読み手は姿を隠し、ペンライトを用いて読みます)絵人形を動かします。動かす人は、黒い手袋を着用すると効果大です。
 - ・ 当日参加できる人が動かすので、直前練習も多いです。
- 最後に
上演時、音楽を入れたいのですが、力不足、時間不足でまだ実現していません。将来は創作作品を上演したい、会場大きさに合わせて舞台を大きくしたい等、夢は広がっています。パネルシアターは見てくださる人が喜んでくださる以上に、作り手一人ひとりが自分の出来るやり方で協力し合える過程が、楽しいのではないかと思います。



台本にした絵本
「かたあしだちょうのエルフ」



絵人形作製中